

西高だより

2009年11月創刊 第158号



西仙北高校広報紙Vol. 2
2022年5月26発行

西高生の雄姿輝く 〜県南総体〜

5月6日から9日にかけて県南総体の各競技が、また硬式野球の春季全県大会が開催され、4つの部が健闘しました。中でもサッカー部は合同チームでありながら三位に輝きました。

サッカー

5月7日(土) 一回戦
角館・大曲農業・西仙北vs横手清陵
前半0-0 後半1-0

5月8日(日) 準決勝
角館・大曲農業・西仙北vs横手

前半0-1 後半0-0
5月9日(月) 三位決定戦
不戦勝

顧問の石山先生は「二試合とも相手と比較してフィジカル能力で勝っており相手陣に押し込む時間帯が多くなった。



ボールを追うキーパーの真剣な表情

守備は、連休中の練習試合を通して「チャレンジ&カバー」を落とし込むことができたので、急造チームの割には安定していた。拮抗した試合ができ、勝つ喜びと負ける悔しさの両方を選手が経験できたことは喜ばしい」と語りました。会場はいずれも美郷町大台野運動広場。

バドミントン

他競技に先駆けて、5月6日(金)美郷町総合体育館リリオスで開催されました。団体戦では秋田修英と対戦し、シングルスで一年小松弘人が一勝しましたが3-1で惜しくも敗退しました。



相方を信じて

個人戦ではダブルスで二年佐藤裕紀・柳原勇磨、シングルスで佐藤裕紀、進藤海音、山下奏音、武藤遙斗が一勝し、次の大会の手応えを感じさせる結果となりました。

女子ソフトテニス

5月7日(土)に大仙市総合公園テニスコートにおいて行われた個人戦に出場しました。結果は一回戦、全県総体出場決定戦ともに敗れ、全県総体出場はかないませんでした。顧問の佐々木満先生は「昨年も含めて初の公式戦でプレーをした経験は、部員の大きな成長につながるはずで、まずは大会で見えた課題の解消に努めていきます」と振り返りました。



監督の指導を熱心に聞いて

春季高校野球

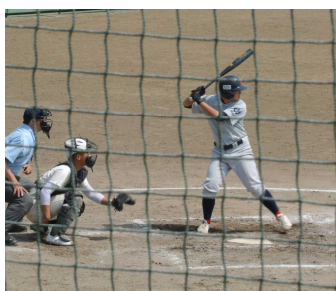
秋田県大会

5月7日(土)二回戦
四校連合(男鹿海洋・大農太田・六郷・西仙北)ー大館鳳鳴
0-16(5回コールド)

顧問の佐藤俊平先生は「シード校相手に初戦敗退という残念な結果でしたが、強豪相手に向かっていく姿勢は夏に向けて期待がもてると感じました。さらなる鍛錬を重ねて夏に向けてチーム一丸となって頑張っていきます」と語りました。

4・5月の練習試合の結果

- 23日 四校連合ー平成高校 1-9
 - 24日 四校連合ー三校連合※ 11-24
 - 29日 四校連合ー横手 11-24
 - 30日 四校連合ー新屋 6-21
 - 3日 四校連合ー大曲農業 0-13
- ※雄物川・仁賀保・羽後



最後の夏に賭ける3年生

大綱米プロジェクト

田植え

天候に恵まれた5月20日(金)、昨年度始まった大綱米プロジェクトが今年も始動しました。

苗の植え方の説明を聞いた後、早速田んぼの中へ。今年のはころがしという道具で泥の上にマス目を付けてくださっていて、おおよそまっすぐに植えることができました。



土と緑に触れ、身体を使い、苗の緑が広がっていく気持ちよさや友達と声を掛け合って作業する楽しさを感じ、笑顔あふれる田植えでした。昨年はコロナのため稲刈りができなかったのですが、今年はずいぶん収穫まで体験できると思いますね！

地域探究Ⅰ

がはじまりました。

この授業は、西仙北地域についての理解を深め、地域の方々をはじめとして様々な方と協働する探究学習として今年度スタートしました。一学期はいろいろな講話を中心に学習していきます。



大綱引きの由来や伝統行事を守っていく難しさなどを知り、西仙北地域以外から通学している生徒もこの地域の魅力に触れて思いを深めていたようです。

全県総体壮行会

5月23日(月)、全県総体に出場するサッカー部とバドミントン部の壮行会を開催しました。サッカー部主将三年田村大翔さんは「相手に勝つという気持ちで戦ってきます」、バドミントン部主将二年武藤遙斗さんは「県南での学びを生かしてプレーしたい」と力強く述べました。

5月17日(火)、バドミントン部がABS秋田放送「中高生応援番組チームUP!」で紹介されました。練習の様子や部員の表情、大会にける意気込みなどからチームの魅力が伝わってきます。YURIホールディングス株式会社ホームページからぜひ御覧ください！

阜月の行事

- 1日 創立記念日
- 6日 春季全県野球大会
- 6日 バドミントン県南総体
- 16日 県南総体
- 16日 ナセナル学習
- 17日 全校生徒が体育館でテスト勉強をしました。友達が頑張っている姿に刺激を受けて、張り出した時間でした。
- 17日 中間考査
- 19日 今年度最初の定期テストが実施されました。特に三年生は進路を決定するため大事なテストとあって、いつも以上に気を引き締めて臨みました。
- 20日 大綱米プロジェクト
- 20日 こども園、小学校、中学校、大綱チーム、大綱引き保存会と合同で大綱米を栽培して収穫し、その稲わらを使って大綱を作るという伝統行事の一端に触れるプロジェクトです。
- 24日 全県総体壮行会
- 24日 交通安全教室

